

[野菜部門]

10. トレビスの菌核病に対するカンタスドライフロアブルの適用

[要約]

カンタスドライフロアブル1,500倍液は、トレビスの菌核病に対して防除効果が高い。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室、環境研究室

[連絡先] 電話086-955-0543

[分類] 技術

[背景・ねらい]

マイナー作物であるトレビスは、総社市、浅口市、美星町などで産地化が図られており、重要な地域特産物であるが、菌核病の発生が栽培上の阻害要因となっている。しかし、トレビスの菌核病に対する登録農薬はない。そこで、有効薬剤の登録促進を図り、防除対策に資する。

[成果の内容・特徴]

1. 農業研究所内の露地栽培のトレビス（品種：レッドロック）圃場において、結球開始期～結球期にカンタスドライフロアブル1,500倍液を散布して、菌核病菌を噴霧接種すると、予防効果は非常に高い（図1）。
2. 現地圃場（浅口市鴨方町）の露地栽培のトレビス（品種：レッドロック）圃場において、結球開始期～結球期にカンタスドライフロアブル1,500倍液を散布すると、菌核病の自然発生に対して防除効果は非常に高い（図2）。
3. 2か所の試験圃場とも、カンタスドライフロアブル1,500倍液の散布によるトレビスの薬害は認められない。
4. 収穫7日前と14日前のカンタスドライフロアブル1,500倍液2回散布におけるトレビス収穫物の残留分析値は、定量検出限界以下または0.5ppmであり、登録保留基準を満たしている（データ省略）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本剤は2013年1月13日にトレビスの菌核病に適用拡大されている。使用基準は、収穫7日前まで（2回以内）である。
2. 本剤は結球始め～結球期に散布すると効果が高い。
3. 菌核病の被害残渣は次作の伝染源となるので、圃場外に持ち出すか土中に埋めるなどして適正に処分する。

[具体的データ]

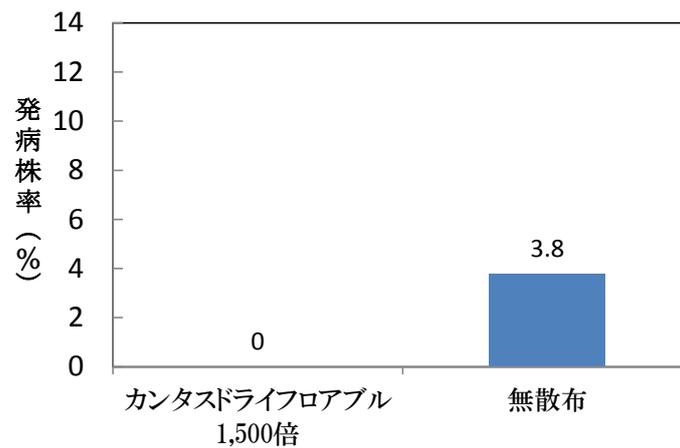


図1 トレビスの菌核病に対するカンタスドライフロアブルの効果(2010、研究所内)

注) 散布日：10/22(結球開始期)、11/4、11/16、11/26、12/6(効果判定可能な発病に至る時期まで散布及び接種を繰り返す効果確認試験であり、計5回散布している)

散布量：250L/10a、接種日：11/7、11/26、11/29、12/5。調査日：12/10

区制・面積：1区6m²(1×6m)、約50株、3区制

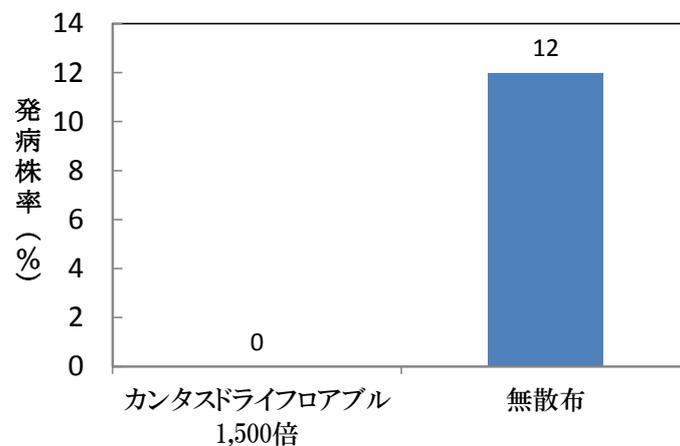


図2 トレビスの菌核病に対するカンタスドライフロアブルの効果(2010、浅口市)

注) 散布日：10/20(結球開始期)、11/2、11/15、11/26(効果判定可能な発病に至る時期まで散布を行う効果確認試験であり、計4回散布している)

散布量：250L/10a、調査日：12/10。区制・面積：1区10.5m²(1.5×7m)、

60~70株、3区制

[その他]

研究課題名：マイナー作物等病虫害防除対策事業

予算区分：交付金(病虫害等防除総合対策事業)

研究期間：2010~2011年度

研究担当者：金谷寛子、井上幸次、田村尚之、高原知佳子